

かみのせき 議会だより

2021
7/21

No.155



形が見えてきた新庁舎

令和3年6月定例議会

議案 (専決処分の承認・補正予算・報告 他)	2～3ページ
一般質問	4～5ページ
議会日誌・要望・編集後記	6ページ

議案

6月定例会は、6月8日から16日までの9日間で開催。

専決した令和2年度補正予算および条例の一部改正6件、令和3年度補正予算1件、条例の一部改正1件、財産の無償譲渡1件、報告3件が上程され、原案のとおり可決・承認された。

専決処分の承認

◆令和2年度上関町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から84億98万3千円を減額し、予算総額を41億7990万6千円とする。

◆令和2年度上関町国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から5億40万円を減額し、予算総額を5億7575万4千円とする。

◆令和2年度上関町後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から400万円を減額し、予算総額を7億652万8千円とする。

◆令和2年度上関町介護保険特別会計補正予算

保険事業勘定の歳入歳出予算の総額から2億572万6千円を減額し、予算総額を6億2327万2千円とする。介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額を1億60万円とする。

◆令和2年度上関町用地取得事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から45億71万3千円を減額し、予算総額を42億8万7千円とする。

◆上関町税賦課徴収条例等の一部改正

改正 地方税法等の一部改正に伴い

補正予算

◆令和3年度上関町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に1億453万9千円を追加し、予算総額を38億7153万9千円とする。

・主なものは、歳入では新型コロナウイルス地域支援事業のための地方創生臨時交付金、新庁舎建設基金繰入金、大橋損傷に伴う県補償金の増額。歳出では、新庁舎建設事業、新型コロナウイルス地域支援対策費の増額。

条例の一部改正

◆上関町手数料徴収条例の一部改正

・行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により改正。

財産の無償譲渡

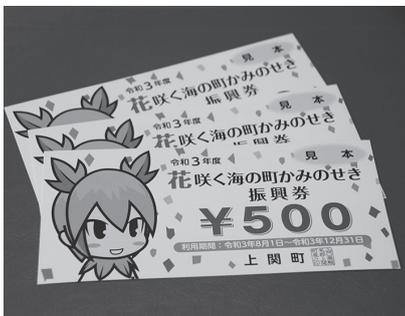
◆無償譲渡する財産

上関町大字室津地内、大字長島地内、大字祝島地内の伝送装置（光ケーブル）2万7063m、自営柱44本、接続フロージャーなど）

無償譲渡先

Kビジョン株式会社
代表取締役 杉田 昌士

・情報通信基盤の効率的運営を行うため。



花咲く海の町かみのせき振興券

報告

○令和2年度上関町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

- ・情報通信基盤整備事業
- ・情報通信基盤整備事業準備事業

・備蓄倉庫整備事業

・戸籍システム改修事業

・寺田山ため池切開工事に伴う測量設計業務

・防災行政無線更新工事

・自家発電機設置工事

・八島東川線災害復旧工事

○令和2年度上関町土地開発公社の決算及び業務等の報告

・用地の取得、売却なし

○第11期一般財団法人なごみの事業計画の報告

- ・上関海峡温泉鳩子の湯と道の駅上関海峡の両施設が連携し、それぞれの役割である生活利便性および町民福祉の向上を目指すとともに、町の産業観光の振興、地域経済の活性化をはかる。

質疑

山戸 孝議員

新型コロナウイルス対応臨時交付金による支援策にある温泉施設と道の駅への補助金だが、以前にも同様の内容で補助金が交付されている。今回の具体的な用途は、

吉崎産業観光課長

温泉施設の自動検温・消毒機器の設置、浴室換気の改修、浴室内放送機器設置など。道の駅は自動検温・消毒機器設置、レストランのテーブル席をカウンタータイプへ変更、商品のインターネット販売システム構築で感染防止対策を実施する。



町内に設置された自動検温機

応答

主な上関町新型コロナウイルス感染症対応支援事業

事業名	支援内容
花咲く海の町かみのせき振興券交付事業	全町民に一人当たり1万円の地域振興券を交付し、住民の生活支援を図るとともに、低迷した地域経済の活性化に繋げる。
新生児応援特別額給付金支給事業	令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に生まれた新生児一人につき10万円をその保護者に支給する。
子育て世帯への新生児特別給付金支給事業	令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれ、児童手当の支給認定を受けている児童一人につき1万円をその保護者に支給する。
子育て世帯臨時応援金支給事業	令和3年4月分の児童手当受給者に対し、対象児童一人当たり1万円を支給する。
妊婦出産応援特別給付金支給事業	新型コロナ感染症の状況が不透明な中で、出産に不安を抱えている妊婦を応援するために、一人当たり15万円を支給する。
給食費等無償化事業	町内在住の保育園児副食費、小中学校児童生徒の給食費の保護者負担分を1年間無料とし、コロナ禍における子育て世帯の経済的負担軽減を図る。
高校生家庭支援事業	コロナ禍における子育て世代の経済的負担を軽減するため、高校生を持つ保護者に対し、生徒一人当たり1万円を支給する。
大学生等応援事業	コロナ禍により生活が困窮している大学生等(町内に保護者が在住している者に限る。)に対し、学生一人当たり1万円を支給する。

町政のここが聞きたい

一般質問



清水 敏保 議員

問 新型コロナウイルス感染症対策について

答 生活支援・地域経済の活性化を図る

新型コロナウイルス感染が猛威を振るい、国内の感染者は74万人を超えている。6月に入り感染者が減少傾向にあるが、油断せず引き続き予防対策を徹底する必要がある。上関町では高齢者接種が4月22日より開始されている。現在まで順調に実施され、接種に関わっている方

達に感謝したい。これから、16歳から64歳以下の方が接種対象となるが、今後のスケジュール、また、地域創生臨時交付金による町の支援策について。

町長答弁

今後の接種スケジュールは、基礎疾患を有する方、40歳から64歳、12歳から18歳の方に6月中旬に接種券を送付し、7月から接種出来る予定。次に19歳から39歳の方は、7月中旬に接種券を送付し、8月から接種出来る予定。交付金の使途目的や対象事業は、感染拡大防止と地域経済の活性化と住民生活の支援に使う。花咲く海の町かみのせき振興券交付事業など22事業を実施する。



救急搬送

問 救急搬送について

答 大変ありがたい

質問

今年に入り祝島では高齢者や作業中の怪我による救急搬送が増えている。搬送する際、担架

に乗せ、救急船に運んで本土側の救急車に渡すまでの間、応急手当が分からず、どのようにして搬送すればよいのか不安に感じていると聞く。以前、消防団員が「普通救命講習」を受けたことがあるが、搬送に関わっている団員から、講習の相談を受ける。常時医師や看護師のいない離島では必要と思うが。

町長答弁

普通救命講習は、柳井地域広域消防組合が毎月第3日曜日、消防本部または各出張所で実施。講習時間は3時間で、内容は心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、大出血時の止血法、異物除去法の4点。以上が普通講習だが、さらに上級救命講習があり、内容は追加で疾病者管理方法、外傷時の手当て・搬送などで、講習時間は8時間となっている。祝島のかたがたが、救命講習を受けていただくことは、大変ありがたい。



山戸 孝 議員

問 新型コロナウイルスワクチン接種、今後の方針は

答 最終的に希望者全ての接種を

質問

①本町のワクチン接種の状況について。②ファイザー製ワクチンの接種対象が12歳に引き下げられたが、不安を持つ保護者もいる。若年層の接種について町の方針は。③他の自治体の離島での集団接種の報道などもあり、町内でも離島での集団接種を求める声があるが町の考えは。④道の駅や温泉施設、離島航路など、町外や県外の方と接せざるを得ない職場で働いている方への接種の方針は。

町長答弁

①65歳以上の対象者のうち1回目接種済が約55%、2回目接種済が約38%。7月上旬には高齢者の希望者全ての接種が終わる見込み。②12歳以上の小中高生には6月中旬に接種券を送付するが、本人の希望が前提。個別接種で対応したい。③離島は協力医療機関から副反応への対応ができないと言われたので、集団接種できる環境に無い。島民の希望に沿うことができず申し訳なく思う。④職域接種は今のところ考えていない。



集団接種（総合文化センター）

問 イノシシ対策へICT（情報通信技術）導入の検討について

答 慎重に考えなければならぬ

質問

イノシシによる農産物への被害が増加、営農意欲の減退や、荒廃農地が増えている。わな、銃による捕獲や防護柵設置などの対策を行っているが、被害を完全に食い止める事は難しい。負担を軽減するために、イノシシ対策へのICT導入の検討は。島根県吉賀町では、わなが作動した情報を自動で知らせ、宇部市では、箱わなに獣サイズ判別センサー式自動捕獲システムを設置。また町では有害鳥獣対策支援で補助金一戸当り限度額3万円だが増額の考えは。



右田 千賀子 議員

町長答弁

ICT導入により、箱わなの見回りおよび捕獲準備の労力軽減に資すると理解している。導入には約600万円の予算がかかり、実施すればランニングコストが200万円以上かかると聞く。事業化は慎重に考えなければならぬ。まずは農業者自身が設置を行い、次に地域での協同、さらには県や町の支援が必要だ。有害獣防護柵等設置事業については、今後も利用しやすい制度となるように、協議、検討を引き続き行う。



箱わなにかかったイノシシ

議会活動報告 (令和3年3月3日～6月1日)

月日	内容(場所・出席者・参加者)
3月3日	小型動力ポンプ付軽消防自動車贈呈式(西・岩木・右田)
3月9日	第1回定例会本会議(全議員)
3月10日	第1回定例会本会議(全議員)
〃	全員協議会(全議員)
3月12日	総務文教常任委員会(右田・山戸・岩木・西・山村)
3月15日	産業厚生常任委員会(清水・山谷・井原・海下・山根・西)
3月17日	第1回定例会本会議(全議員)
3月18日	第1回定例会本会議(全議員)
〃	議会運営委員会(海下・山根・井原・右田・山谷・西)
3月21日	市町手話言語条例についての学習会(山口市・岩木・海下・右田)
3月23日	田布施町議会議長・副議長就任挨拶(西・岩木)
3月25日	議会広報委員会(岩木・海下・右田・山戸)
3月26日	例月出納検査(井原)
3月29日	議会広報委員会(岩木・海下・井原・右田・山戸)
4月3日	戦没者慰霊祭(室津地区・西)
4月5日	議会広報委員会(岩木・海下・井原・右田・山戸)
4月13日	議会広報委員会(岩木・海下・右田)
4月16日	議会広報委員会(岩木・海下)
4月19日	柳井地区広域市町議会議長会総会(柳井市・西)
4月22日	中学生議会打合せ(西・岩木・海下・右田)
4月26日	例月出納検査(井原)
5月7日	熊毛郡町議会議長会定例会(田布施町・西)
5月17日	小中一貫教育の推進の説明(西・右田)
5月26日	例月出納検査(井原)
5月27日	山口県議会議長・副議長就任挨拶(西)
6月1日	議会運営委員会(海下・山根・井原・右田・山谷・西)

要望

- ① 防災行政無線の戸別受信機設置
- ② 日中の避難所開設及び日没までの避難完了誘導(台風接近時等)
- ③ 防災情報の積極的な提供

令和3年3月31日

室津駐在員協議会

代表 品川 朋子



防災行政無線

編集後記

毎日毎日テレビ、新聞報道などを賑わしているコロナウイルス。昨年からは始まり、気が付けば一年以上も県外に出していない状態です。全国でワクチン接種が始まり、当町でも4月22日より開始され、順調に進んでいます。ワクチン接種の効果もあって全国的に一部地域を除いては、感染者数も減少傾向にあると感じられる。これから先ワクチン接種が進むことにより、一日も早く以前のようなストレスを感じない、日常生活に戻ることを期待します。コロナを侮るべからず、しかし決して負けることなかれ。

議会広報広聴
調査特別委員
委員長 岩木 和美
副委員長 海下竜一郎
委員 井原 久治
〃 右田千賀子
〃 山戸 孝

次回定例会の初日は

9月9日(木)の予定です。

発行責任者/議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集/議会広報広聴調査特別委員会
印刷所/中村印刷株式会社